

財っ子通信 第9号 文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

学校では、低中高学年別の持久走大会を開催し、冬に備えての体力作りを終えました。寒くなると、どうしても室内が多くなり、運動不足になりがちですが、冬将軍が逃げるぐらいの元気で、外で活動して欲しいものです。

冬の定番の一つにミカンがあります。乾燥しがちの体に水分と風邪予防のビタミンCが含まれているそうです。

お子様の心と体の元気のサポートは、いろいろあるでしょうが宜しくお願いします。



学校はいつ終わる？

先日、県PTA大会に参加しました。そこでの岡富中学校の発表に考えさせられました。

「あなたの子どもは、あなたのコピーではなく、一つの人格であるのに、その人格を蹂躪（じゅうりん）する心ない感情的な言葉をかけていないか」という問いでした。この問いの奥には、子どもを縛る親の常識が、時々、世間体と見栄で出来ていて、子どもの選択性を狭めているのではないかという問題提起がありました。

自分のことを棚にあげて、すぐに出来ていない我が子を他と比べていた面が自分にもあり、恥ずかしくなりました。そして、我が子を待ってあげられずに、すぐに口が出てしまうのは、我が子が親離れできないのではなく、親が子離れできていないのでは問われ、それも一理あると思いました。

学生時代には学べないことを、親として学ばないといけないと改めて感じさせられました。学校を卒業して学ぶことが終わるのではなく、親としても学びは続いており、その学びの場がPTA活動の中にあると再認識したところです。

そういう意味では、学ぶ場(学校)は、ずっと続いていると思います。

新年の誓い

新しい年に、新たな誓いや目標を持って、充実した未来を作りたいのですが、そこでのキーワードは「乗り越える」ではないかと思っています。立てただけの目標では、なんの意味もなさない気がします。昆虫が、さなぎから成虫になるときに脱皮するように、新しいものに生まれ変わるには、乗り越えていく強い決意と揺るがない克己心が大切ではないでしょうか。

結局、過去は絶対に変えられなし、他人を変えることは難しい。だからこそ、自分を変えて、未来を変えるしかないのが人生ですから、新年の目標も、今までの自分を「乗り越える」ものになって欲しいと願っています。

私の誓いは、

「財光寺小学校の学力を日本1の秋田県より上げること」

挑戦します。

